

## 分野 5

# 豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」(教育・文化分野)

### 政策 1

#### 未来を切り拓く人材の育成と環境の整備

- 施策 1 乳幼児期から高等教育までの教育の充実 …… 施策番号 28
- 施策 2 子どもに応じた支援の充実 …… 施策番号 29
- 施策 3 家庭・地域・学校の相互連携による教育力向上 …… 施策番号 30

### 政策 2

#### 豊かな人生を送るための学習機会の提供

- 施策 1 生涯学習環境の充実 …… 施策番号 31
- 施策 2 学習成果を活かした地域づくりへの参加促進 …… 施策番号 32

### 政策 3

#### 魅力あふれる文化の創造と継承

- 施策 1 多彩な文化芸術の創造と活動支援 …… 施策番号 33
- 施策 2 文化の継承による魅力ある地域づくりの推進 …… 施策番号 34

### 政策 4

#### スポーツを軸としたまちづくりの推進

- 施策 1 だれもがスポーツを楽しめる環境づくりの推進 …… 施策番号 35
- 施策 2 スポーツを通じた交流拡大の推進 …… 施策番号 36

### 政策 5

#### 国際交流・多文化共生の推進

- 施策 1 国際交流活動の推進 …… 施策番号 37
- 施策 2 多文化共生の推進 …… 施策番号 38



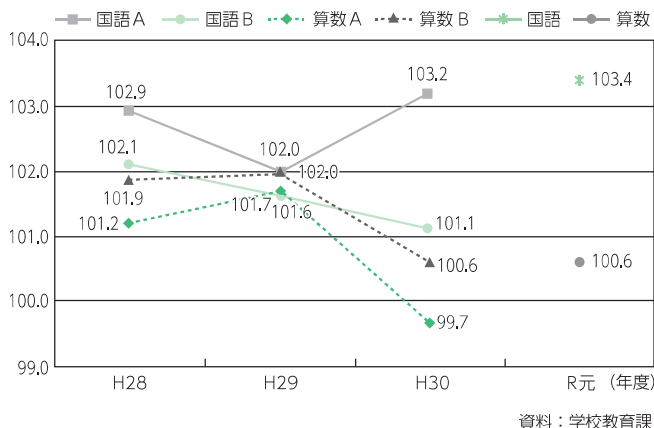
現況と課題

● 学力は中学生になると全国平均を下回る状況が続きましたが、諸調査等の結果に基づく指導改善の取り組み等により、全国平均と同等になっています。学力の向上について、新学習指導要領\*の趣旨を踏まえ、全ての児童生徒が適切かつ効果的な学習成果が得られるよう、家庭・地域・事業所等と協働しながら、個別最適な学び・協働的な学びの実現に向け取り組む必要があります。

また体力は、男子は全国平均を上回る種目が多い傾向にあり、女子は全国平均を下回る種目が多い傾向にあります。体力の向上について、多様な特性を持つ児童生徒や運動に親しめていない児童生徒が日常的に運動できる環境を整備する必要があります。

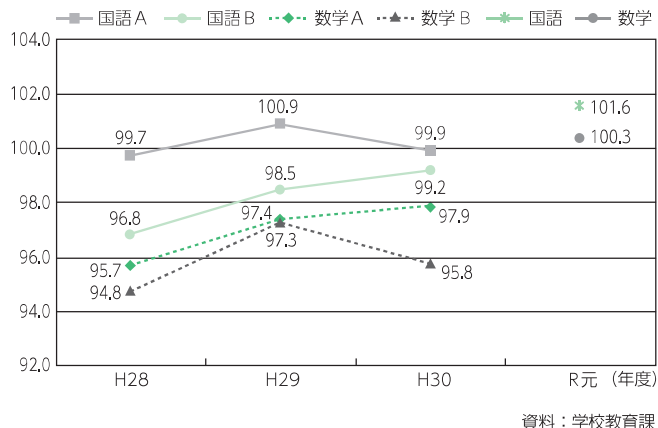
● 平成30年6月に、長野市活力ある学校づくり検討委員会\*から示された「少子化に対応した子どもにとって望ましい教育環境の在り方」(答申)に沿った活力ある学校づくりを推進していく必要があります。

◆全国学力・学習状況調査の平均正答率 (小学生)



\*全国を100とした指数  
\*R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

◆全国学力・学習状況調査の平均正答率 (中学生)



\*全国を100とした指数  
\*R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

目指す状態

子どもが社会でたくましく生きていくために、主体的に探究したり、協働的に学んだりしながら、知・徳・体を一体的に身に付け、人間性豊かに成長している。

主な取組

- 子どもの知・徳・体を一体的に育成し、健康の保持・増進に取り組めます。(学校教育課、保育・幼稚園課、保健給食課)
- 園児・児童・生徒の交流、小・中・高等学校の学校種間連携や小中一貫教育を推進するとともに、「長野市活力ある学校づくり検討委員会」から示された答申に沿った「新たな学びの場の創出」に取り組めます。(学校教育課、保育・幼稚園課) (施策番号7関連)
- 乳幼児期における教育・保育の質の向上に取り組めます。(保育・幼稚園課) (施策番号7関連)
- 社会の変化に対応でき、地域への関心を高める教育を推進します。また、社会的・職業的自立に向けた能力・態度を育成します。(学校教育課)
- 教職員の力量向上に取り組めます。(学校教育課)
- 高等教育機関等の教育環境の充実に向けて支援するとともに、連携による地域の発展と人材育成に取り組めます。(企画課、教育委員会総務課)

\* 新学習指導要領……学習指導要領とは、全国どこでも一定の水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程(カリキュラム)の基準。およそ10年に1回改訂しており、教科書や時間割はこれを基に作られている。新学習指導要領は小学校が2020年度、中学校が2021年度から全面実施となっている。

\* 長野市活力ある学校づくり検討委員会……平成28(2016)年に「少子人口減少社会が進展する中で、少子化に対応した子どもにとって望ましい教育環境の在り方」について審議するための諮問機関として設置されたもの。

アンケート指標（市民が思う割合） 環境や体制に関する評価 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
知（学力）・徳（豊かな心）・体（体力）を一体的に育成し、子どもがたくましく生きていくための教育が行われている	43.2%	
（設定なし）		

統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標
全国学力・学習状況調査における国語、算数、数学の平均正答率	・小学校6年生（国語、算数） ・中学校3年生（国語、数学） の平均正答率（全国を100とした指数）	小学生 国語103.4 算数100.6 中学生 国語101.6 数学100.3 (R元)	小学生 国語103.4 算数100.6 中学生 国語101.6 数学100.3
全国体力・運動能力、運動習慣等調査において全国平均値を上回った種目数	・小学校5年生（8種目） ・中学校2年生（9種目） について、全国平均値を上回った種目数	小学生 男子6種目 女子5種目 中学生 男子6種目 女子4種目 (R元)	小学生 男子6種目 女子5種目 中学生 男子6種目 女子4種目
全国体力・運動能力、運動習慣等調査における運動やスポーツに対する意識及び運動時間に関する質問項目	・運動やスポーツをすることが好きと答える児童生徒（小学校5年生、中学校2年生）の全国比 ・授業以外の1週間の運動時間が60分以上の児童生徒（小学校5年生、中学校2年生）の全国比	運動好き 小学生 男子100.3 女子95.6 中学生 男子96.8 女子90.7  運動時間 小学生 男子102.3 女子101.4 中学生 男子102.2 女子97.2 (R元)	運動好き 小学生 男子100.3 女子100 中学生 男子100 女子100  運動時間 小学生 男子102.3 女子101.4 中学生 男子102.2 女子100

個別計画

第三次長野市教育振興基本計画、長野市乳幼児期の教育・保育の指針

施策2 子どもに応じた支援の充実 [学校教育課]

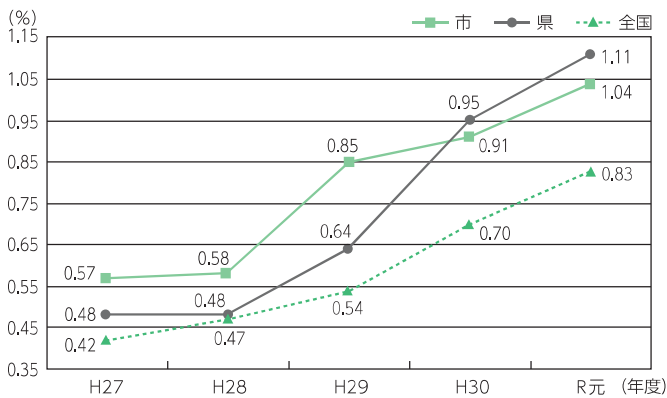
施策番号 29

現況と課題



● 市の不登校児童生徒の在籍率は国・県同様、年々増加傾向にあります。学校に登校することだけ为目标とするのではなく、一人ひとりの子どもたちに応じて、適切な支援を行うことが重要であることから、引き続き、SDGsの理念である「誰一人取り残さない」という視点を持ち、関係機関等と連携して、不登校やいじめの未然防止、様々な特性を持った子どもへの対策とともに、一人ひとりの子どもが社会的自立ができるよう対策を講じる必要があります。

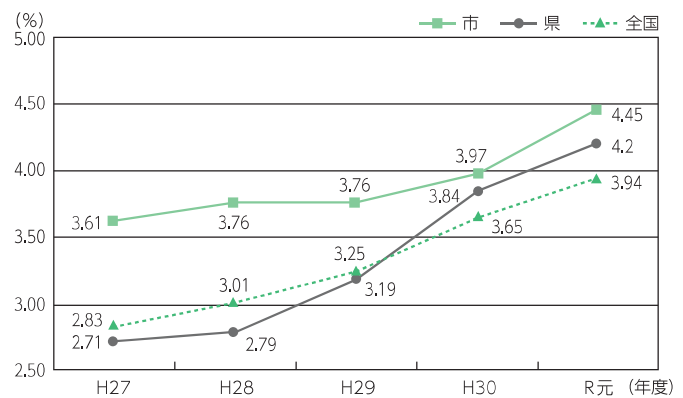
◆不登校児童在籍率 (小学生)



資料：学校教育課

\*R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

◆不登校生徒在籍率 (中学生)



資料：学校教育課

\*R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

目指す状態

不登校やいじめに悩む子ども、様々な特性のある子ども、社会的援助を必要とする子どもなど、子どもに応じた適切な支援の下、関係機関等と連携し、一人ひとりに合わせて安心安全に学習に取り組んでいる。

主な取組

- 不登校やいじめの未然防止に取り組むとともに、子どもや保護者に対する支援体制を充実します。(学校教育課)
- いじめのない安心な学校づくりを推進します。(学校教育課)
- 障害のある子どもや社会的援助を必要とする子どもを支援します。(子育て家庭福祉課、教育委員会総務課、学校教育課、障害福祉課、生活支援課) (施策番号8、施策番号11関連)

アンケート指標 (市民が思う割合) 環境や体制に関する評価 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
子ども一人ひとりが大切にされ、安心して学習に取り組める相談・支援体制が整っている	42.7%	🔄
(設定なし)		

統計指標 (統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
新規不登校児童生徒の在籍率	児童生徒のうち、新たに不登校となった児童生徒の割合	小学校0.61 中学校1.89	前年度の 数値以下

個別計画

第三次長野市教育振興基本計画、いじめ防止等のための基本的な方針、第二期長野市子ども・子育て支援事業計画

### 施策3

## 家庭・地域・学校の相互連携による教育力向上〔家庭・地域学びの課〕

施策番号 30

### 現況と課題

分野横断  
テーマ①  
まち

分野横断  
テーマ②  
ひと

4  
教育の深い理解を  
もたらす

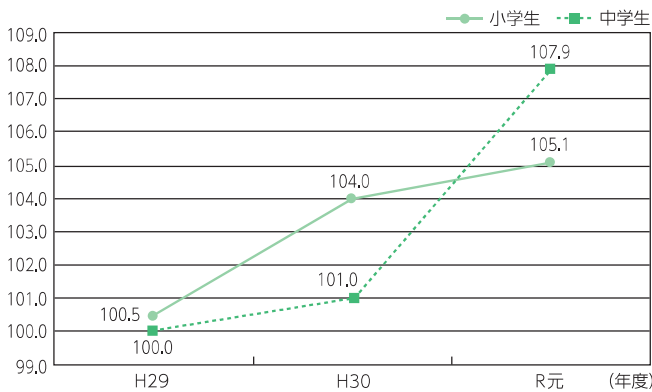
11  
住み続けられる  
まちづくりを

16  
子育てと子育て  
支援の連携を

17  
パートナーシップで  
課題を乗り越えよう

● 全国学力・学習状況調査の質問項目で「地域をよくするために何をすべきか考えることがある」と回答した児童生徒の割合は全国平均とほぼ同じです。また、「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した割合は全国と比べて大きく上回っています。引き続き、子どもを健やかに育むために、家庭・地域・学校の相互連携により、学びや育ちを支えていく必要があります。

#### ◆「地域をよくするために何をすべきか考えることがある」と回答した児童生徒の割合

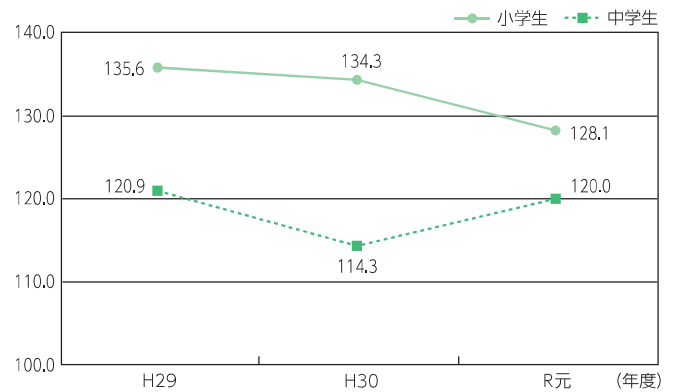


資料：学校教育課「全国学力・学習状況調査」の質問項目

\*全国を100とした指数

\*R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

#### ◆「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童生徒の割合



資料：学校教育課「全国学力・学習状況調査」の質問項目

\*全国を100とした指数

\*R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

### 目指す状態

家庭・地域・学校が相互連携により教育力を向上し、子どもの学びや育ちを支えている。

### 主な取組

- 親子が共に学び成長する力の向上につながる取組を推進します。(家庭・地域学びの課、健康課) (施策番号7関連)
- 地域が主体となって子どもの学びや育ちを支える取組を推進します。(家庭・地域学びの課、学校教育課)
- 放課後などに子どもが安全・安心に過ごし、多様な体験や活動ができる環境を充実します。(こども政策課) (施策番号6関連)

### アンケート指標 (市民が思う割合) 環境や体制に関する評価 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
家庭・地域・学校が連携して、子どもの学びや育ちを支えている	51.0%	
地域の子どもにあいさつや声かけをしている	62.3%	

### 統計指標 (統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
地域をよくするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合	全国学力・学習状況調査結果 (全国を100とした指数)	小学生105.1 中学生107.9 (R元)	小学生101.2 中学生100.4
住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	全国学力・学習状況調査結果 (全国を100とした指数)	小学生128.1 中学生120.0 (R元)	小学生131.0 中学生117.3

### 個別計画

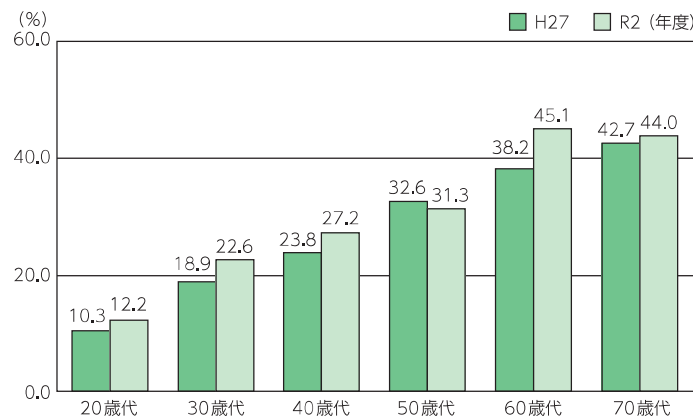
第三次長野市教育振興基本計画、第二期長野市子ども・子育て支援事業計画



現況と課題

- 生涯学習センター\*や市立公民館\*、市交流センター\*を利用して生涯学習に取り組む若い世代が少ないことから、これらの世代が利用しやすいよう、講座や施設の周知、内容の充実、施設運営などを検討する必要があります。

◆「生涯学習活動に公民館や生涯学習センターを利用する」と回答した市民の割合



資料：家庭・地域学びの課「生涯学習に関するアンケート」

目指す状態

ライフステージ\*に応じた学習情報や学びの機会が提供され、多くの市民が学びを実践している。

主な取組

- 多様なニーズに対応した講座を充実します。(家庭・地域学びの課)
- 利用しやすい生涯学習施設や図書館の運営を推進します。(家庭・地域学びの課)
- 生涯学習に関する情報を適切に提供します。(家庭・地域学びの課)

アンケート指標 (市民が思う割合) 環境や体制に関する評価 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
公民館などで、学びの機会が提供されている	43.6%	↑
公民館などで提供されている学びの場に参加している	22.0%	↑

統計指標 (統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
若い世代を中心に構成される団体が市立公民館・市交流センターを利用した割合	市立公民館・市交流センターを利用する全団体のうち、20歳代～40歳代中心で構成されている団体が市立公民館・市交流センターを利用した割合	7.8%	11.0%

個別計画

第三次長野市教育振興基本計画、第三次長野市生涯学習推進計画

\* 生涯学習センター……生涯学習推進の拠点施設。主催講座を多数開催しているほか、施設内の学習室は、グループ・サークルの練習発表の場、企業の会議、セミナー、講演会、展示会など幅広い用途で利用できる。  
 \* 市立公民館……社会教育施設のひとつ。成人学校や各種学級・講座を開催しているほか、社会教育団体・サークルなどに貸館を行っている。  
 \* 市交流センター……地域活動の拠点施設として、地域住民によるまちづくり活動や交流の場として利用するため、社会教育施設である市立公民館から移行した施設。教養講座や各種学級・講座を開催しているほか、社会教育団体・サークルなどに貸館を行っている。平成31(2019)年度に4館(柳原、長沼、小田切、篠ノ井)、令和3年4月に1館(中条)が移行した。  
 \* ライフステージ……人間の一生を乳幼児期、青少年期、成人期、高齢期などに分けたそれぞれの段階。

現況と課題

分野横断  
テーマ①  
まち

分野横断  
テーマ②  
ひと

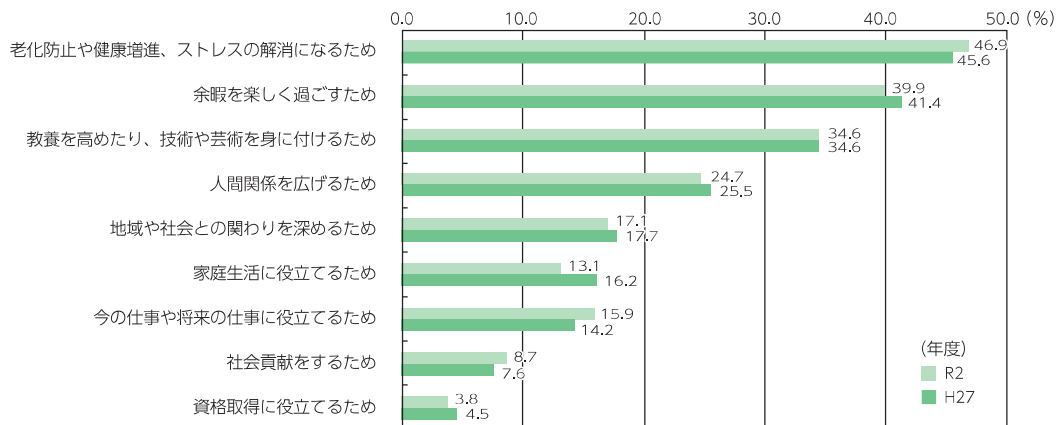
11 日本銀行が  
まちづくりを  
支援する

16 市民自治会  
すべての人に  
参加する

17 6次産業で  
日本を元気に  
する

- 生涯学習が住民主体の地域づくりにつながることから、市立公民館・市交流センターの指定管理者制度<sup>※</sup>の導入を受託可能な住民自治協議会から進めています。公民館活動を更に活発化し、市民が生涯学習を通じて充実感を得られ、地域づくりに活かせるよう支援する必要があります。

◆ 「生涯学習活動の目的」についての市民意識



資料：家庭・地域学びの課「生涯学習に関するアンケート」

目指す状態

あらゆる世代の人が市立公民館や市交流センターなどで地域を学び、地域づくりに活かしている。

主な取組

- 地域づくりにつながる学習を支援します。(家庭・地域学びの課)
- 学習成果を発表する場と活用する仕組みを充実します。(家庭・地域学びの課)
- 市民による講座の企画・運営を支援します。(家庭・地域学びの課)

アンケート指標 (市民が思う割合) 環境や体制に関する評価 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
公民館などで、地域づくりに活かされる学びの機会が提供されている	43.8%	↑
公民館などで学んだことを地域づくりに活かしている	13.1%	↑

統計指標 (統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
市立公民館・市交流センターの「地域の学び」講座実施回数	市立公民館・市交流センターの「地域の学び」講座実施回数	113回	145回

個別計画

第三次長野市教育振興基本計画、第三次長野市生涯学習推進計画

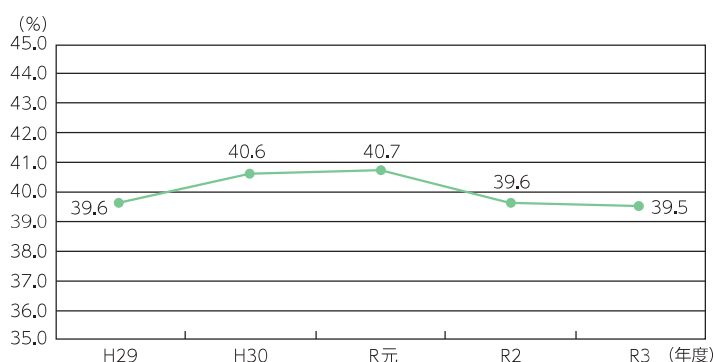
※ 指定管理者制度……公の施設の管理運営を市が指定した民間事業者が請け負う制度のこと。民間の効果的・効率的な手法の活用により、経費の削減や利用者に対するサービスの向上が見込まれる。



現況と課題

- 市民の文化芸術活動が盛んで、各地域には伝統芸能が広く伝わっており、平成27年善光寺御開帳プロジェクトや長野市芸術館の開館により、市民の関心も高まっています。  
今後も鑑賞・発表など市民が気軽に文化芸術に親しめる機会の提供を進める必要があります。  
また、県北部の中核都市として、近隣市町村と連携しながら、継続的な発展を進める必要があります。

◆ 「音楽、美術、演劇など文化芸術に気軽に親しめる環境が整っている」  
についての市民意識



資料：文化芸術課「まちづくりアンケート」

目指す状態

子ども、高齢者、障害者など、あらゆる人々が日常から気軽に文化芸術に触れ、常に活発な文化芸術活動が行われている。

主な取組

- 長野市芸術館を拠点とした多彩な文化芸術の鑑賞機会を提供します。(文化芸術課)
- 市民の自主的・自発的な文化芸術活動を支援し、生きがいやまちのにぎわいにつながる発表の機会を充実します。(文化芸術課)
- 子どもの創造力や感性を育む文化芸術活動を支援します。(文化芸術課)
- 交流が広がる魅力ある文化芸術公演やイベントを企画・創造します。(文化芸術課)

アンケート指標 (市民が思う割合) 環境や体制に関する評価 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
音楽、美術、演劇など文化芸術に気軽に親しめる環境が整っている	39.5%	↑
音楽、美術、演劇などを観たり、聴いたり、行ったりして楽しんでいる	45.6%	↑

統計指標 (統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
市有ホール施設の利用者数	長野市芸術館、東部文化ホール、松代文化ホール、勤労者女性会館しなのき、若里市民文化ホールの利用	149,200人	458,000人

個別計画

第二次長野市文化芸術振興計画



現況と課題

分野横断  
テーマ①  
まち

分野横断  
テーマ②  
ひと

11 国指定文化財  
保存地区

16 重要伝統的建造物群  
保存地区

17 伝統的建造物群保存  
地区

- 有形・無形の歴史文化遺産が観光資源や地域住民のよりどころとして保存・継承されています。文化財の総合的・一体的な保存と活用を進めるとともに、適切に継承されるよう担い手の確保などを支援する必要があります。

◆国・県・市指定等の文化財件数

(令和3年5月1日現在)

	種別	件数	内容
国指定	国宝	1	建造物 1
	重要文化財	30	絵画 2、彫刻 15、工芸品 3、書跡 2、 歴史資料 1、建造物 7
	記念物	7	史跡 6、天然記念物 1
国選定	伝統的建造物群保存地区	1	重要伝統的建造物群保存地区 1
国選択	民俗資料	1	選択無形民俗文化財 1
国認定	重要美術品	6	絵画 2、工芸品 2、彫刻 1、書跡 1
国登録	有形文化財	57	建造物 57箇所 (136棟)
	記念物	8	名勝地 8
県指定	県宝	31	彫刻 8、絵画 2、工芸品 7、建造物 11、 考古資料 1、書跡 2
	有形民俗文化財	1	有形民俗文化財 1
	無形民俗文化財	4	無形民俗文化財 4
	記念物	22	史跡 5、名勝 1、天然記念物 16
市指定	有形文化財	141	書跡 2、文書 10、彫刻 27、絵画 8、工芸品15、 考古資料 12、歴史資料 3、建造物 64
	無形文化財	7	無形文化財 7
	有形民俗文化財	14	有形民俗文化財 14
	無形民俗文化財	9	無形民俗文化財 9
	記念物	119	史跡 46、名勝 3、天然記念物 69、 名勝・天然記念物 1
市選択	選択無形民俗文化財	8	選択無形民俗文化財 8
市選定	選定保存技術	1	保存技術 1
合計		468	

資料：文化財課

目指す状態

有形・無形の歴史文化遺産が適切に保存・継承・活用され、魅力ある地域づくりにつながっている。

主な取組

- 指定文化財などを調査・整備し、博物館での展示や史跡の公開を進めます。(文化財課)
- 伝統芸能を次世代へ保存・継承する関係団体の活動を支援します。(文化芸術課)
- 重要伝統的建造物群保存地区\*をはじめ、歴史的なまちなみなどの環境を保存・活用します。(まちづくり課、文化財課) (施策番号53関連)
- 歴史文化遺産を活かし、観光との連携を推進します。(文化財課、観光振興課)
- 歴史文化遺産の保護に関わる団体を育成し、活動を支援します。(文化財課)

アンケート指標 (市民が思う割合) 環境や体制に関する評価 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
地域の文化財が適切に保存・継承・活用されている	52.2%	
地域の伝統的な行事に参加している	31.3%	

統計指標 (統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
文化財保護活動参加者数	指定文化財の保護に当たっている市民団体の構成員で活動に参加した人数	5,255人	6,400人

個別計画

第三次長野市教育振興基本計画、第二次長野市文化芸術振興計画、長野市歴史的風致維持向上計画

\* 重要伝統的建造物群

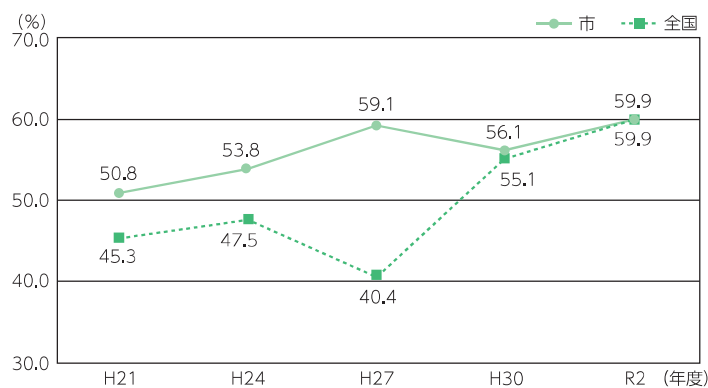
保存地区……………城下町、門前町など歴史的な集落やまちなみの保存のために市町村が決定した伝統的建造物群保存地区のうち、我が国にとってその価値が特に高いものとして文部科学大臣が選定した地区のこと。

現況と課題



- 成人のスポーツ実施率は増加しており、全国に比べると高い状態にあります。近年、医療費の抑制や健康寿命延伸の観点から、スポーツや運動による日常的な健康づくりが注目されています。  
また、子どものスポーツ活動の実施については、家庭、地域、学校の連携を中心にした環境から、民間や総合型地域スポーツクラブ<sup>※</sup>、スポーツの競技団体などが中心となる環境整備が求められています。  
このことから、子どもや、仕事、家事、育児等で忙しい世代、高齢者など各年代やライフスタイルに応じて、スポーツを身近に感じ、楽しめる環境を整備する必要があります。

◆成人が週1回以上スポーツや運動を実施した割合



資料：スポーツ課「まちづくりアンケート」、内閣府、文部科学省

目指す状態

安全・安心で気軽にスポーツや運動に親しめる環境が整い、市民が自分に合ったスポーツや運動を楽しんでいる。

主な取組

- スポーツを通じた健康増進や健康寿命延伸につながる取組を推進します。(スポーツ課、健康課) (施策番号14関連)
- 総合型地域スポーツクラブ<sup>※</sup>やスポーツ推進委員の育成・活用など、地域における自主的なスポーツ活動を促進します。(スポーツ課)
- 障害者のスポーツ参加の機会拡大やだれもが使いやすい環境づくりを推進します。(障害福祉課、スポーツ課)
- 競技団体の運営基盤の強化を図り、競技力向上及び競技スポーツ人口の拡大につながる取組を推進します。(スポーツ課)
- スポーツ施設を計画的に整備・改修するとともに、適切な管理運営を行います。(スポーツ課)

アンケート指標 (市民が思う割合) 環境や体制に関する評価 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
🏠 スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている	53.5%	📌
👤 設定なし)		

※ 総合型地域スポーツクラブ……身近な生活圏である中学校区程度の地域において、学校体育施設や公共スポーツ施設を拠点としながら、年代・性別・技術レベルに関係なくだれもが気軽に参加できる地域住民が主体的に運営するスポーツクラブのこと。

## 統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標
スポーツ実施率	成人が週1回以上スポーツや運動を実施した割合	59.9%	65.0%

## 個別計画

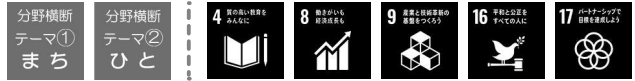
第三次長野市スポーツ推進計画、ながの健やかプラン21（第三次長野市健康増進計画・第三次長野市食育推進計画）、第二次長野市障害者基本計画

施策 2

スポーツを通じた交流拡大の推進 [スポーツ課]

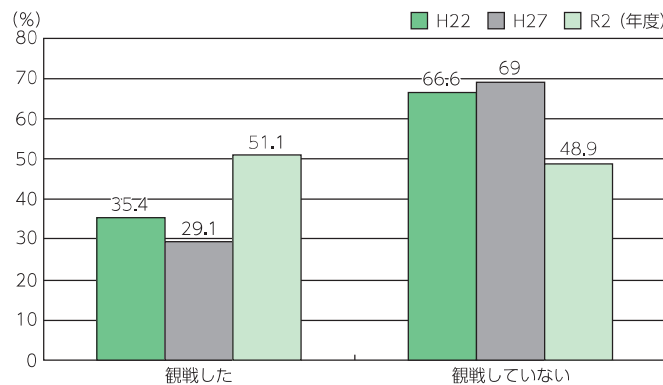
施策番号 36

現況と課題



- オリンピック・パラリンピックを開催したことによる有形無形の財産を活用し、スポーツによる産業振興が可能な本市の特徴を十分に活かしていくことが重要です。  
 さらに、オリンピック・パラリンピックを開催した都市として、本市のプロモーションを強化し、オリンピック・パラリンピックムーブメント\*を継承するとともに推進する必要があります。  
 また、現在、本市をホームタウンとする地域密着型プロスポーツチーム\*は4チームに増加しており、チームへの愛着が増すことで、地元地域への誇りや一体感、コミュニティ意識が高まり、地域の活性化が進むことから、市内スポーツ施設で観戦する市民の割合を、さらに高める必要があります。

◆スポーツ施設でスポーツ観戦をした市民の割合



資料：スポーツ課「長野市スポーツ振興アンケート」

目指す状態

多くの市民が市内のスポーツ施設でスポーツを観戦するとともに、スポーツを通じた交流人口が拡大し、地域の活性化が進んでいる。

主な取組

- 大規模スポーツ施設を活用した国際大会や全国大会などを誘致・開催します。(スポーツ課、観光振興課) (施策番号41関連)
- 長野マラソンや全国中学校スケート大会の継続開催など、宿泊滞在型のスポーツイベントを支援します。(スポーツ課、観光振興課)
- 地域密着型プロスポーツチームと連携・協力します。(スポーツ課)
- オリンピック・パラリンピックムーブメントを継続的に推進します。(スポーツ課、観光振興課)
- 第82回国民スポーツ大会、第27回全国障害者スポーツ大会開催に向けた準備を進めます。(スポーツ課)

アンケート指標 (市民が思う割合) 環境や体制に関する評価 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
プロスポーツや各種競技大会が盛んに行われている	36.1%	↑
市内のスポーツ施設で、プロスポーツや各種競技大会を観戦している	16.8%	↑

統計指標 (統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
地域密着型プロスポーツチームのホームゲーム入場者数	プロスポーツチームのホームゲームの入場者数	79,408人	366,000人

個別計画

第三次長野市スポーツ推進計画、長野市観光振興計画

\* オリンピック・パラリンピックムーブメント……いかなる差別もなく、友好、連帯、フェアプレーの精神をもって、相互理解を推進する「オリンピック精神」に基づき、スポーツを通じて青少年を育成することにより、平和でより良い世界を建設し、国際親善に貢献しようとする事。  
 \* 地域密着型プロスポーツチーム……地域を拠点とし、株式会社などの経営体が運営するプロスポーツチームで、試合での活躍や試合以外でのイベントへの参加など地域と密着して活動し、地域住民はチームの応援や会員となるなどサポートを行う。このような関係を保ちながら活動することで、ファンを獲得し観客数増加につなげるとともに、地域のスポーツ振興や地域活性化に寄与する効果がある。

現況と課題



- 姉妹都市・友好都市<sup>\*</sup>などとの交流のほか、市民団体による地域に根ざした国際交流などの活動促進にも取り組んでいます。更に多くの市民が事業の参加や活動に関わり国際交流を底上げできるよう、活動を推進するとともに支援を拡充する必要があります。また、社会情勢の変化に対応できる新しい形での交流も行う必要があります。

◆姉妹都市・友好都市との交流実績

		(年度)					
		H27以前	H28	H29	H30	R元	合計
姉妹都市 (クリアウォーター市)	受入	88団549人	2団11人	3団16人	3団19人	3団19人	99団614人
	派遣	110団876人	2団15人	3団21人	3団21人	3団22人	121団955人
友好都市 (石家庄市)	受入	118団894人	5団50人	2団18人	3団29人	2団18人	130団1,009人
	派遣	72団944人	2団52人	1団14人	1団15人	2団15人	78団1,040人

\*R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

資料：観光振興課

目指す状態

多くの市民が国際交流に関心を持ち、国際交流事業に参加し、活動に関わっている。

主な取組

- 姉妹都市・友好都市などとの国際交流活動を推進します。(観光振興課、学校教育課)
- オンラインを活用した国際交流活動に取り組みます。(観光振興課、学校教育課)
- SNS<sup>\*</sup>等を活用して国際交流活動を多くの市民に周知するとともに、市民主体の国際交流活動を支援・促進します。(観光振興課)
- 国際交流員<sup>\*</sup>などを派遣し学校や地域との交流を推進します。(観光振興課)

アンケート指標 (市民が思う割合) 環境や体制に関する評価 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
国際交流が盛んに行われている	12.3%	
国際交流イベントに参加している	3.2%	

統計指標 (統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
国際交流事業件数	市の国際交流事業補助金を活用し、市民団体が主催した国際交流イベントや留学生との交流事業などの件数	2件	13件

個別計画

第三次長野市教育振興基本計画

※ 姉妹都市・友好都市……文化交流や親善を目的として結びつきをもつ都市のこと。表記の違いはあるが、同様の交流事業を行う。昭和34(1959)年3月にアメリカ合衆国フロリダ州にあるクリアウォーター市と姉妹都市の提携をした。昭和56(1981)年4月に中華人民共和国河北省にある石家庄市と友好都市の締結をした。

※ SNS……Social Networking Service の略。登録された利用者同士が交流できるWeb上のサービスのこと。インターネットを介して人間関係、社会的なネットワーク(ソーシャルネットワーク)の構築を可能にするサービス。

※ 国際交流員……語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)により、地方公共団体において国際交流推進等のために勤務する外国青年のこと。

施策2 多文化共生の推進 [観光振興課]

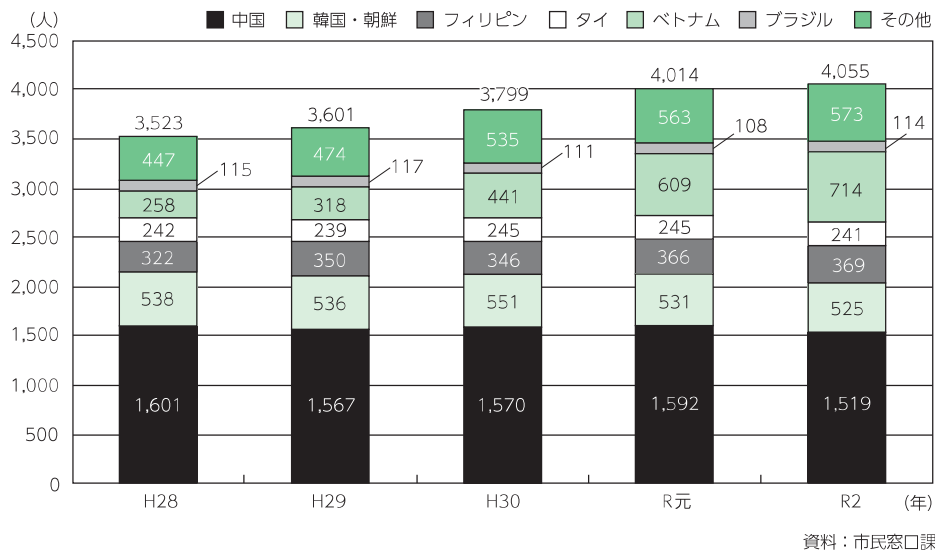
施策番号 38

現況と課題



- 外国人住民数は4,000人を超えました。今後、更に国際化が進展する中、多様性や価値観の違いを尊重し、相互理解を深め、外国人が暮らしやすく共生できる多文化共生社会の実現に向けて取組を推進する必要があります。

◆国別外国人登録者数



目指す状態

多様性を認め合い、互いを尊重している。また、文化や習慣などが異なる外国人にとっても、暮らしやすい環境が整っている。

主な取組

- 異なる文化や習慣などへの相互理解と共生意識の醸成を促進します。(観光振興課、人権・男女共同参画課)
- 外国人の日常生活や学校生活などに対する相談・支援体制を充実します。(観光振興課、学校教育課)
- オンラインなどの活用により、日本語を学習する機会を幅広く提供し、地域で安心して暮らすことができる環境を整えます。(観光振興課)

アンケート指標 (市民が思う割合) 環境や体制に関する評価 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
(設定なし)		
外国の文化や習慣を理解しようと努めている	29.4%	

統計指標 (統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
国際交流コーナー*の利用者数	国際交流コーナーで開催している日本語教室の受講者、母語相談やイベント等で訪れた人数	5,582人	9,800人
SNSのフォロワー**数	長野市国際交流フェイスブック等のSNSをフォローしている人数	866人	1,000人

個別計画

第三次長野市教育振興基本計画、長野市人権政策推進基本方針

\* 国際交流コーナー………在住外国人支援及び市民と外国人の交流の場として設置された施設。  
 \*\* フォロワー………SNSにおいて、他のユーザーの投稿を自分の専用ページで閲覧できるように設定しているユーザーのこと。